パーソナル・デジタルテレビ BTV-1010

かんたん操作ガイド

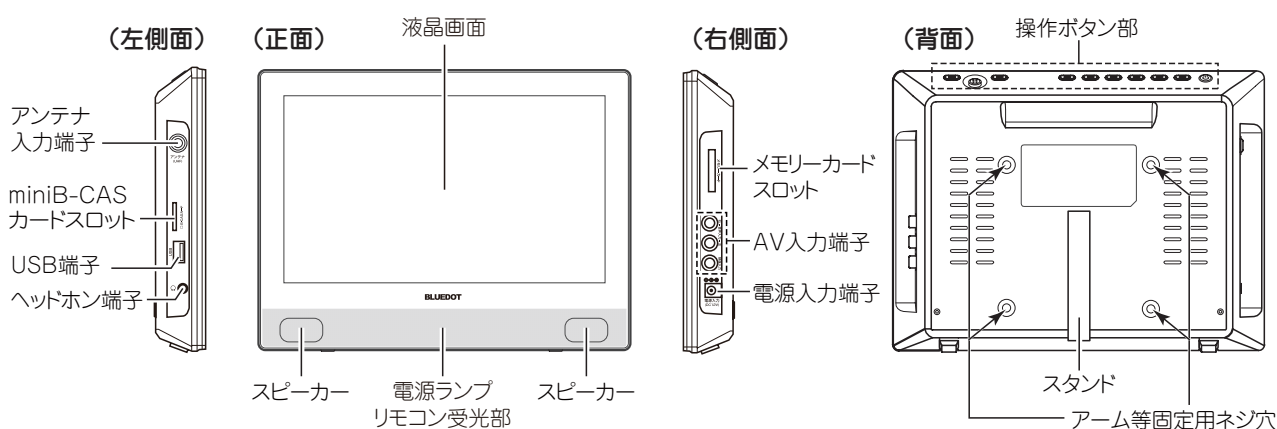
取扱説明書

BLUEDOT®

本機は日本国内の地上デジタル放送に対応したテレビ受像機です。他国ではご利用いただけません。

この取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本体と付属品 内容物をご確認ください。

● テレビ本体............1台

● リモコン....1個
● 単4形乾電池（試供用）....2本
● ACアダプター....1個
● AVケーブル....1本
● アンテナケーブル....1本（3 m）
● VESA固定用ネジ....4本
● 取扱説明書（本書）....1部
● 保証書....1枚
● miniB-CASカード....1枚

注意
・本書ではリモコン操作を中心に記載していますが、同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。
・本体背面のネジ穴を利用すれば、VESA100準拠の市販のアームなどに設置することができます。なお、本体ネジ穴の深さが浅くなっておりますので、もしアームなどに付属するネジで固定できない場合は、本機付属の固定用ネジをご使用ください。

もくじ

◆ 取扱説明書の内容、本機および付属品の外観、機能、仕様などは、改善のため将来予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

警　告

煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかったら、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

プラグを抜く

内部に水や異物を入れない。入ったときは、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

指定以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。

電源コード、アンテナケーブルを破損しないようにする。
火災・感電の原因となります。

電源プラグの付着物は取る。
プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災・感電の原因となります。

電源プラグはきちんと差し込む。傷んだプラグは使わない。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。

分解、改造を行わない。
内部の部品に直接触れると、火災・感電・けがの原因となります。

雷が鳴り始めたら電源プラグやアンテナケーブルに触れない。
火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室、キッチンなど湿気や油煙の多いところで使用しない。
火災・感電の原因となります。

異常に温度が高くなる場所や寒暖差の激しい場所に置かない。
火災・感電・故障の原因となります。

本機を落としたり大きな衝撃を与えたりしない。
電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注　意

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で触れない。
感電の原因となることがあります。

過度のたこ足配線をしない。
火災・感電の原因となることがあります。

背面の放熱口に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く。
詰まったまま使用すると、火災・故障の原因となります。

大きな衝撃をあたえない。
液晶画面が割れたり、本機が故障・破損する原因となります。

本機を布などで覆ったり、背面の放熱口を塞いだりしない。
本機の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります

移動するときは本機に接続されているすべての配線を取り外す。
けが・故障の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池について安全上の注意

電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。
電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電したりしない。
破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

指定以外の電池を使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

新しい電池と使用済みの電池を混ぜて使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す。
そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
液が目の中に入ったときや体や衣服についたときは直ちに水道水などのきれいな水で洗い、すぐ医師にご相談ください。

ご使用に関する注意

お手入れ
お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れが付いた場合は柔らかい布で拭いてください。油汚れの場合は、薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭いてください。

結露について
寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

視聴時の注意
暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないよう注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

仕様上の注意
◆ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
◆ バックライトには寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。
◆ 本機を他のテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

補償について
何らかの不具合 / 故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

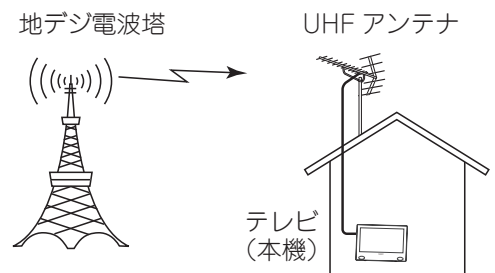
保証修理 / 交換
保証期間内であっても、本書や取扱説明書、保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

本機を廃棄する場合は、家電リサイクル法に従ってください。

① 地デジとは

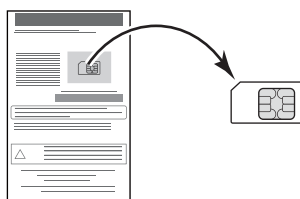
地上デジタル放送の略称です。2011年7月24日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタル放送に切り換わります。地上デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、ゴーストのないクリアな映像を実現するだけでなく、電子番組表の表示や字幕の表示といった新しいサービスも提供しています。

* 本機は「BSデジタル放送」や「110度CSデジタル放送」など衛星放送、および「地上アナログ放送」の受信には対応していません。

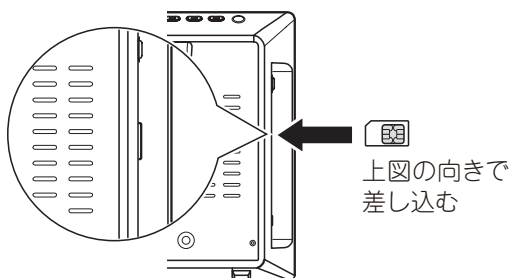
* 本機は地上デジタル放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。

! 注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。
- 電波が弱い場所では増幅器（ブースター）を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器（アッテネーター）をご利用ください。
- 次の場所や地域では受信できない可能性があります。
  (1) 電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナでの受信など電波が弱いまたは不安定または届かない場合。
  (2) 妨害波や電磁雑音が多い場合。
  (3) 地上デジタル放送が始まっていない地域。
- 地上デジタル放送の知識や視聴できる地域に関する情報は「社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）」までお問い合わせください。
  Dpaホームページ：http://www.dpa.or.jp/
  総務省 地デジコールセンター：0570-07-0101（ナビダイヤルをご利用になれない場合は：03-4334-1111）

② B-CASカードを挿入する

1 B-CASカードの台紙の内容を一読し、同意された上でB-CASカードを外す

B-CASカード台紙

2 B-CASカードを正しい向きで確実に挿入する

上図の向きで差し込む

! 注意

- B-CASカードの金属端子には触れないでください。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- B-CASカードを分解したり、加工したりしないでください。
- B-CASカード以外のものを本機に挿入しないでください。
- B-CASカードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- 本機を使用中にB-CASカードを抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜く場合は、テレビの電源をオフにしてからACアダプターを外し、ゆっくり引き抜いてください。

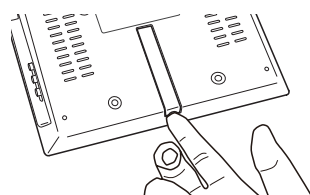
破損・紛失などによりB-CASカードの再発行が必要な場合は…

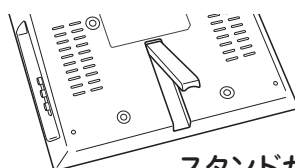
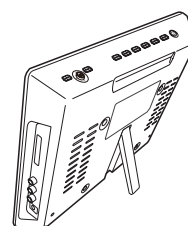
詳しくは、B-CASカードの台紙に記載のある「B-CASカスタマーセンター」にご連絡ください。なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。

B-CASカスタマーセンター：0570-000-250
（ナビダイヤルをご利用になれない場合は：045-680-2868）

※その他、B-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

③ テレビを設置する

1 スタンドを引き上げる

スタンドが開きます

スタンド端の溝に指を入れて引き上げます

2 テーブルなど台の上に設置する

! 注意

- 不安定な場所に置かないでください。落下・転倒などによりけがや破損の原因となります。
- 本体に上から強い力を加えると、スタンドが破損したり設置面に傷が付く可能性があります。
- 材質によっては設置面に傷が付く可能性があります。
- スタンドに指をはさまないようお気を付けください。

アンテナと電源を接続する

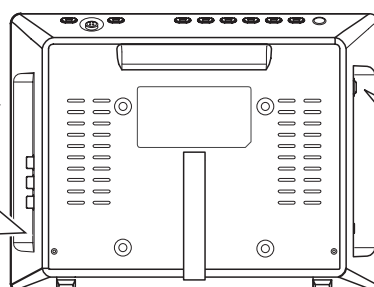
下図のようにアンテナケーブルを接続したあと、付属のACアダプターを本体の電源入力(12V)に接続します。

壁面コンセントへ

付属の
ACアダプター

電源入力

電源入力
(DC12V)

本体を背面から見た図

アンテナ(UHF)

CATV局
(パススルー方式)

地デジ対応 UHF アンテナ

または

付属の
アンテナケーブル

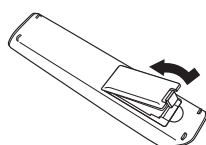
壁面アンテナ端子

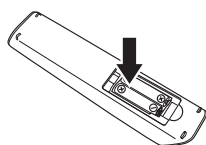
! 注意

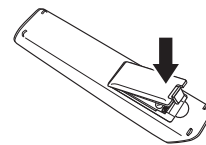
- 1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、市販の分配器をご利用ください。
- 市販のアンテナケーブルを購入される場合は、太く短いものをおすすめします。ケーブルが長くなるほど信号が弱まります。

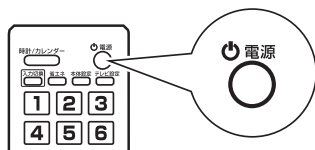
④ リモコンの準備

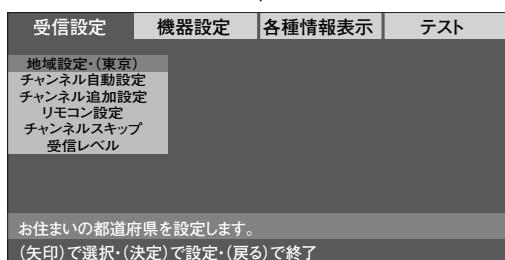
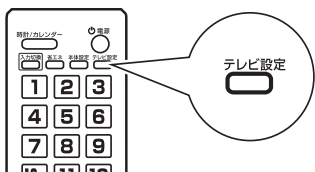
工場出荷時にはリモコンに電池が入っていません。以下の手順で付属の乾電池を入れてください。
電池を交換するときも、同様の手順で行ってください。

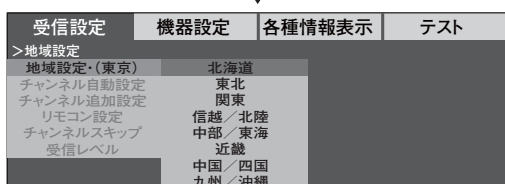
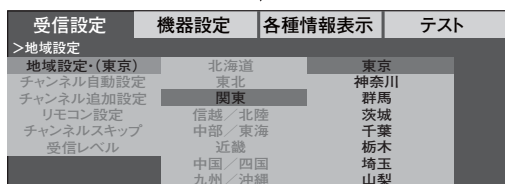
1. 電池カバーを外します

矢印の方向へ押して開きます。

2. 極性(+/−)に注意して電池を入れます

電池は**単4形電池**をご使用ください。

3. 電池カバーを元に戻します

⑤ チャンネルを設定する

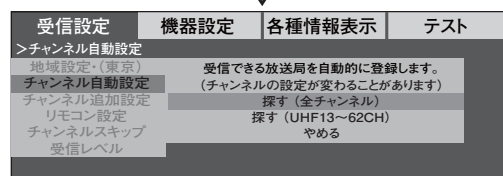
1 「電源」ボタンを押す

※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。
※ ご購入直後は「チャンネル設定を行ってください」というメッセージが表示されます。

2 「テレビ設定」ボタンを押す

画面上にテレビ設定メニュー画面が表示されます。

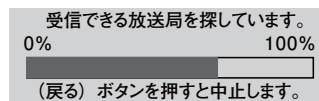
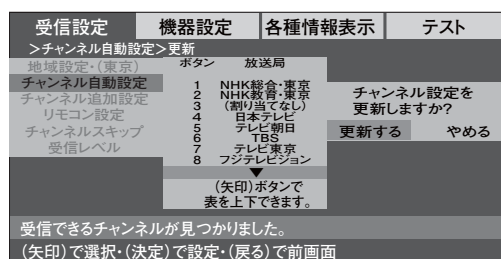
3 [受信設定]の[地域設定・(東京)]が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを押す

4 ∧選局 選局∨ボタンを押してお住まいの地域を選び、「決定」ボタンを押す

右上に続く

5 ∧選局 選局∨ボタンを押してお住まいの都道府県を選び、「決定」ボタンを押す

手順2の画面に戻ります。

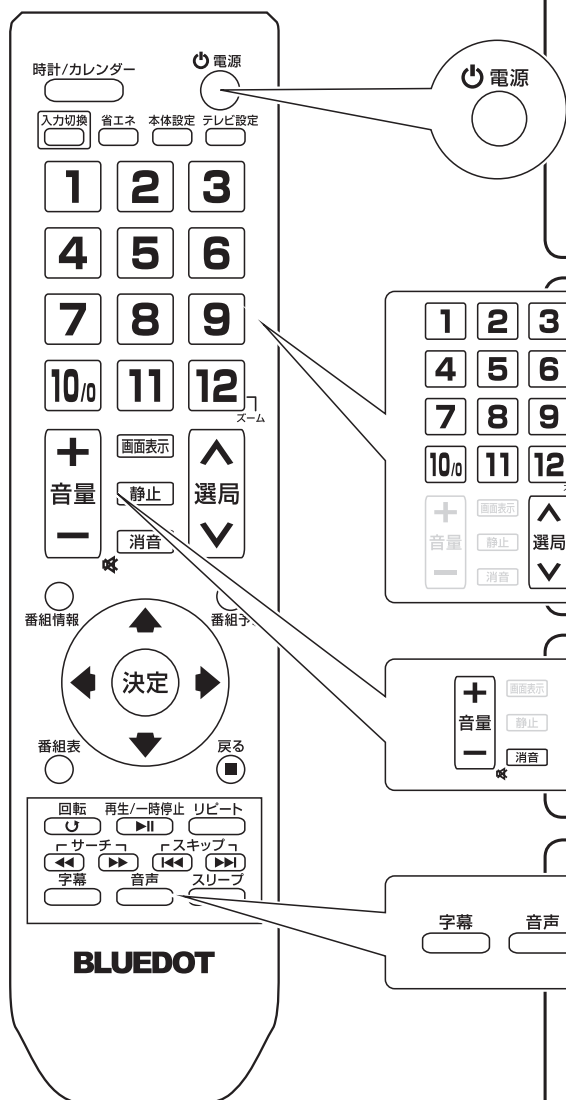
6 ∧選局 選局∨ボタンを押して[チャンネル自動設定]を選び、「決定」ボタンを押す

7 [探す(全チャンネル)]を選び、「決定」ボタンを押す

[探す(UHF13～62CH)]を選んでUHF放送帯のみから探すこともできます。

初期スキャンが始まります。

8 受信できるチャンネルが表示されたら[更新する]を選び、「決定」ボタンを押す。

「戻る」ボタンを押すと放送受信画面になります。

これで初期設定は終了です。

注意 チャンネルが表示されない場合は、アンテナが正しく接続されているか、またアンテナケーブルに地上デジタル放送の信号が来ているか、受信レベルは十分かご確認ください(12ページ参照)。

⑥ テレビを観る

電源をオン/オフする

※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください
※ ご購入直後は「チャンネル設定を行ってください」というメッセージが表示されます。前のページを参照して、初期設定を行ってください。
※ オフにしたとき、本機はスタンバイ状態(待機状態)になります。主電源を完全にオフにすることはできません。

チャンネルを切り換える

チャンネル番号を直接押すか、選局ボタンを使ってチャンネルを切り換えます。

※ チャンネルが割り当てられていない番号を押しても「このボタンはチャンネル登録されていません」と表示され、チャンネルは切り換わりません。

音量を調整する

音量ボタンを使って音量を調整します。
消音ボタンを押すと音声を消すことができます。

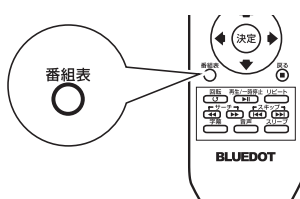
字幕表示を切り換える 第2音声に切り換える

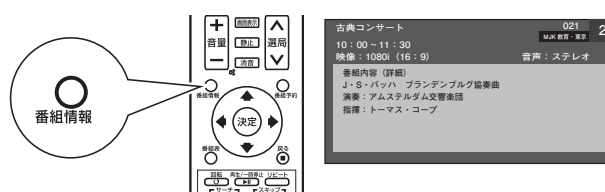
字幕のある番組では、ボタンを押すごとに表示/非表示を切り換えることができます。
第2音声が含まれている番組では、ボタンを押すごとに切り換えることができます。

番組表を表示する

番　組　一　覧
古典コンサート　1月20（水）10：00-11:30

	MJK 総合・東京 011 012	MJK 教育・東京 021 022 023	テレビ関東 041 042
10時	00 今週の料理 野菜の蒸し煮 / 50 番組紹介	00 古典コンサート J・S・バッハ ブランデンブルグ協奏曲	00 ショッピング / 50 天気予報
11時	00 歌の絵本	30 高校講座・英語	00 ワイドショー
12時	00 ニュース / 15 ドラマスペシャル ～斑鳩の里	00 高校講座・社会 / 30 高校講座・国語	
13時		00 午後の美術館 ～海外の美術館	00 ポップス・ベストテン

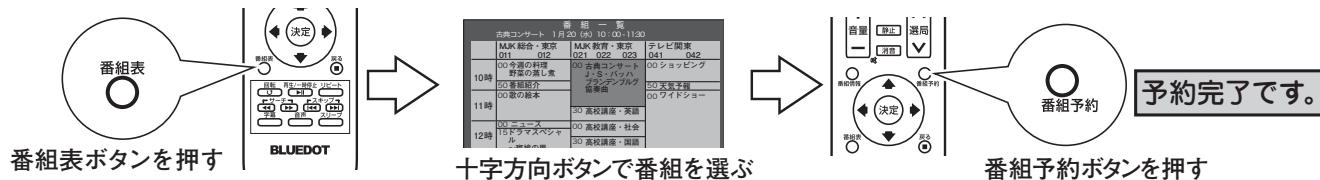
(矢印)選択.(番組情報)詳細.(決定)選局.(戻る)/(番組表)終了.(番組予約)予約

番組表ボタンを1回押すと番組表を表示します。
もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

番組情報を表示する

番組情報ボタンを1回押すと番組の情報を表示します。もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

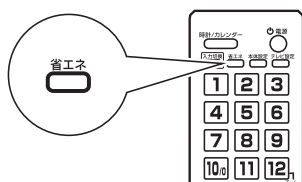
⑦ 便利な機能

番組予約（視聴予約）を行う

指定した番組の開始時間の少し前に自動的にオンにして、その番組を視聴することができます。

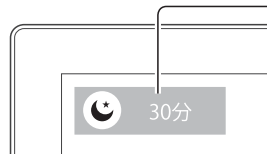
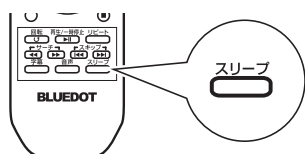
番組表ボタンを押す　　十字方向ボタンで番組を選ぶ　　番組予約ボタンを押す

※ 開始時間の数分前にテレビモードが起動し、番組が始まる直前にチャンネルが切り換わります。
※ 録画機能ではありません。　※1回につき1番組だけ予約できます。
※ 解除するときは、指定した番組をもう一度選択してください。

省エネモードを利用する

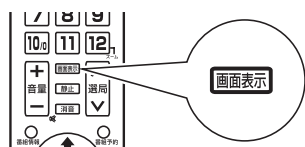
画面を暗くしたり消したりして、消費電力を低減することができます。

※ ボタンを押すごとに表示モードが切り換わります。

オフ　：標準の表示モードです
オン　：バックライトを暗くして節電します。
消画　：画面を消して音声だけを流します。
明るさ優先：輝度を上げて明るい場所でも観えやすくします。
（消費電力は上がります。）

スリープ機能（オフタイマー）を利用する

指定した時間後に、自動的に電源をオフにすることができます。

※ ボタンを押すごとに指定時間が変わります。
オフ→ 10 分→ 20 分→ 30分→ 60分
→ 90分→ 120分→ 180分→オフ

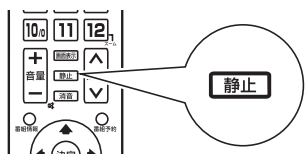
画面情報を表示する

番組名とチャンネル名を表示することができます。

※ 外部入力時は、「AV入力」と表示します。
※ フォトフレームモードでビデオまたは音楽を再生しているときは、ファイルの再生時間を表示します。

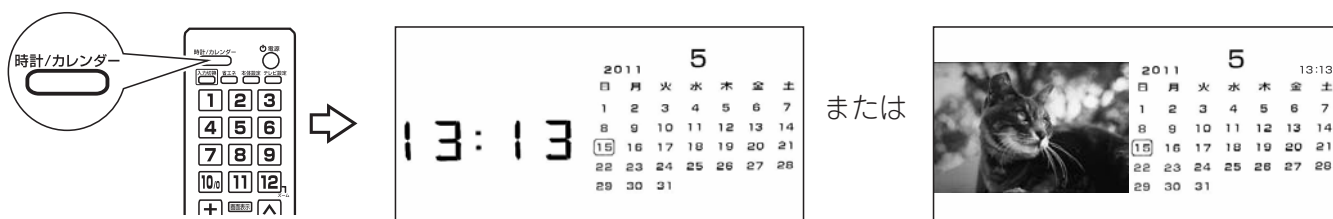
テレビ画面を一時静止する

現在の画面を表示しつづけることができます。

静止

※ もう一度ボタンを押すと視聴画面に戻ります。

⑧ 時計 / カレンダーを表示する

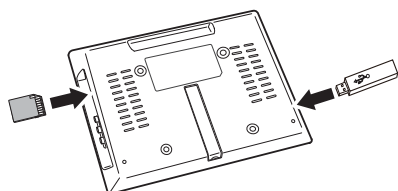
画面全体に時計 / カレンダーを表示することができます。

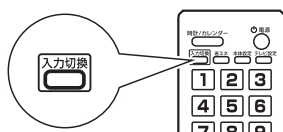
または

※ もう一度「時計 / カレンダー」ボタンを押すと、元のモードに戻ります。
※ 時計 / カレンダーを表示したまま 1 分間過ぎると、自動的に省エネモードがオンになります。

写真と時計 / カレンダーを表示する

設定により、写真のスライドショーと時計 / カレンダーを並べて表示することができます。

※「時計＋カレンダー」または「写真＋カレンダー」を選択することができます。

⑨ フォトフレームとして使用する

フォトフレームモードに切り換える

入力切換ボタンを押します。

※ ボタンを押すごとに入力が切り換わります。

テレビ→AV 入力→フォトフレーム

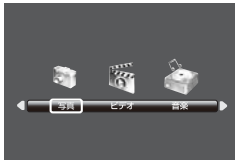
自動スライドショーを表示する

デジタルカメラで使用しているメモリーカードを挿入している場合は、フォトフレームモードに切り換えたとき、自動的に撮影した写真のスライドショーが始まります。

※ メモリーカードの DCIM フォルダの中に保存された写真をスライドショーします。
※ スライドショーは、日時が古いものから順に表示されます。
※「戻る」ボタンを押すと、スライドショーを停止して、ファイル選択画面を表示します。

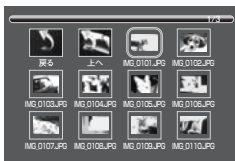
⑨ フォトフレームとして使用する（続き）

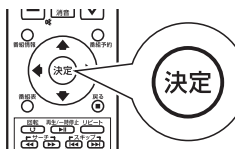
パソコンから保存したファイルを表示するときは、ファイル選択画面から選択します。

1 再生するファイルの種類を選択する

※「写真」を選択すると、画像を再生できます。
※「ビデオ」を選択すると、動画を再生できます。
※「音楽」を選択すると、音声を再生できます。

2 再生するメディアを選択する

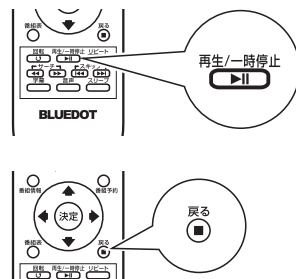
※ メモリーカードまたはUSBメモリーのどちらか一方しか挿入していないときは、この画面は表示されません。

3 再生するファイルまたはフォルダを選択する

※「戻る」を選択すると、最初の選択画面に戻ります。
※「上へ」を選択すると、1つ前のフォルダに戻ります。
※ フォルダを選択すると、そのフォルダの中に移動します。

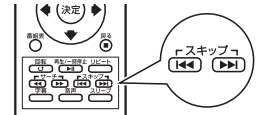
4 ファイルを再生する

※ 再生ボタンを押すと、選択したファイルから順にフォルダ内のファイルを再生します。
※ 決定ボタンを押すと、選択したファイルを再生します。

一時停止/停止する 写真 ビデオ 音楽

再生/一時停止ボタンを押す。

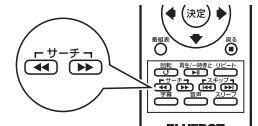
停止ボタンを押す。

※ 停止すると、ファイル選択画面に戻ります。

前後のファイルを再生する（スキップ）

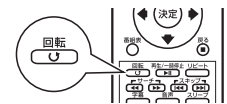
写真 ビデオ 音楽

スキップボタンを押す。

※ 押すごとに、前後のファイルに移動します。
※ 決定ボタンで再生したとき、またはファイルリピート中は、同じファイルを繰り返します。

早送り/早戻しする ビデオ 音楽

サーチボタンを押す。

※ 押すごとに、再生速度が変わります。
※ 再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

画像を90度回転する 写真

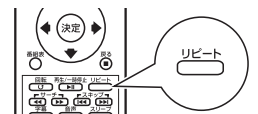
回転ボタンを押す。

※ 押すごとに、90度回転します
※ 回転中は、一時停止の状態になります。
※ 再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

画像を拡大する（ズーム） 写真

ズームボタンを押す。
（数字の12ボタンです）

※ 押すごとに、ズーム倍率が変わります。
※ ズーム中は、一時停止の状態になります。
※ 再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

リピートを切り換える 写真 ビデオ 音楽

リピートボタンを押す。

※ 押すごとに、次のように切り換わります。

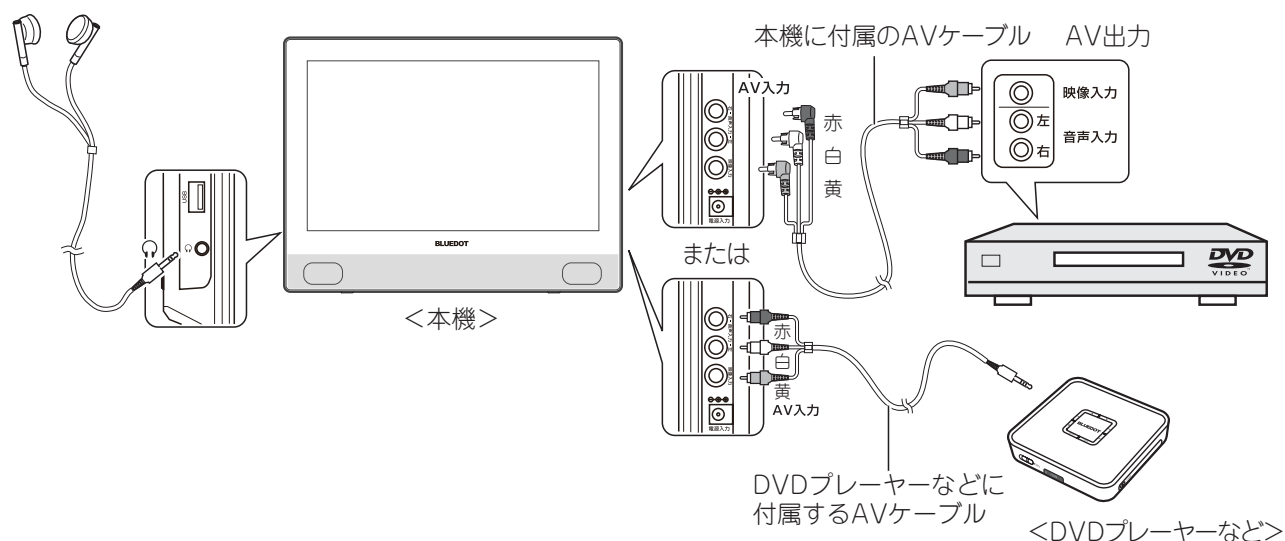
→ファイル→すべて→リピートオフ

⑨ フォトフレームとして使用する(続き)

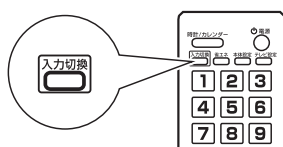
対応フォーマット一覧

種類	フォーマット	拡張子	最大解像度	最大ビットレート
写真	JPEG	.jpg	15360 × 8640 ※プログレッシブ形式は 1024 × 768	-
	BMP	.bmp	9600 × 6400	-
	PNG	.png	9600 × 6400 ※インターレース形式は 1200 × 800	-
ビデオ	MPEG-1	.mpg .mpeg	1920 × 1080 @ 30P	20Mbps
	MPEG-2	.mpg	1920 × 1080 @ 30P	20Mbps
	MPEG-4	.avi .mp4	1920 × 1080 @ 30P	20Mbps
	H.264	.mkv .mov	1920 × 1080 @ 30P	20Mbps
	Motion JPEG	.avi	640 × 480 @ 30P	10Mbps
音楽	MP3	.mp3	-	32K ～ 320Kbps

※ 上記条件であっても、メディアとの相性やメディアの転送速度、データ構造などによっては再生できない、または正常に再生できない場合があります。

⑩ 外部入力の映像を表示する

※ 外部機器と接続するときは、本機と接続する機器の電源を切って、電源プラグを抜いてから行ってください。

AV 入力モードに切り換える

入力切換ボタンを押します。

※ ボタンを押すごとに入力が切り換わります。

→テレビ→AV 入力→フォトフレーム

⑪ 各種設定を行う

[本体設定]をする

本体設定ボタンを押す。

本体設定メニューが表示されます。

[本体設定]で設定できる項目

メインメニュー	設定項目	説明
映像設定	画質モード	再生ジャンルにあわせた画質に切り換えます。 ［選択項目］:標準、映画、鮮やか、ユーザー（コントラスト、明るさ、彩度、シャープネス、色合い）
	色温度	画面全体の色調を標準、暖色または寒色に切り換えます。 ［選択項目］:標準、暖かい、冷たい、ユーザー（赤、緑、青）
	画面サイズ	画面のサイズ(縦横比)を切り換えます。 ［選択項目］:自動、4:3、16:9、ズーム1、ズーム2、ジャストスキャン、パノラマ
	ノイズリダクション	映像のノイズを低減する回路の強弱を切り換えます。 ［選択項目］:オフ、弱、中、強
音声設定	音声モード	再生するジャンルに合わせた音質に切り換えます。 ［選択項目］:標準、音楽、映画、スポーツ、ユーザー（高音、低音）
	バランス	左右の音声のバランスを調整します。
	自動音量調整	音量を自動的に調整します。 ［選択項目］:オフ、オン
	サラウンド	音の広がりを増大します。 ［選択項目］:オフ、オン
	イコライザ	音質を手動で調整します。(120Hz、500Hz、1.5KHz、5KHz、10KHz、)
時間設定	時計	日付と時間を設定します。
	スリープ	電源を自動的にオフにするまでの時間を切り換えます。 ［選択項目］:オフ、10分、20分、30分、60分、90分、120分、180分、240分
	自動スリープ	AV入力信号がない状態で3分間が過ぎたときに、電源を自動的にオフにするかどうかを切り換えます。 ［選択項目］:オフ、オン
機器設定	OSD表示言語	メニュー画面の表示を日本語または英語(English)に切り換えます。
	ユーザーリセット	本体設定メニューで変更した項目を工場出荷状態に戻します。
	メニュー表示効果	本体設定メニューを表示するときに表示効果を加えます。 ［選択項目］:オフ、オン
メディア設定	写真表示間隔	スライドショーの表示間隔を切り換えます。 ［選択項目］:5秒、10秒、30秒、1分、10分、30分、1時間、6時間、12時間
	カレンダー表示	時計とカレンダー、写真とカレンダーの表示を切り換えます。 ［選択項目］:時計＋カレンダー、写真＋カレンダー

※ 動作の状態によって、画面サイズやノイズリダクションの設定は変更できないことがあります。
※ 時計は、テレビモードのとき放送波に含まれる情報をもとに自動的に調整されます。

⑪ 各種設定を行う（続き）

［テレビ設定］をする

テレビ設定ボタンを押す。

［テレビ設定］で設定できる項目

メインメニュー	設定項目	説明
受信設定	地域設定	本機を使い始める前にお住まいの地域を設定します。
	チャンネル自動設定	お住まいの地域設定に合わせて受信できるチャンネルを自動的に設定します。
	チャンネル追加設定	放送局の追加をするときに再設定します。
	リモコン設定	リモコン番号を選んで、お好きな放送局を割り当てます。
	チャンネルスキップ	受信できる放送局でも普段視聴しない放送はリモコンで選局をスキップするように設定できます。
	受信レベル	チャンネルを選ぶと受信強度を表示させます。
機器設定	暗証番号	暗証番号を設定します。暗証番号は［テレビ設定］メニューで設定した内容を工場出荷状態に戻すときに必要になります。暗証番号を忘れると元に戻せませんので忘れないようにしてください。 **［設定（更新）方法］** ①［テレビ設定］ボタンを押し、テレビ設定メインメニュー画面から ◀▶ ボタンを押して［機器設定］を選択。 ② ▼ ▲ボタンを押して［暗証番号］を選択し、「決定」ボタンを押す。 ③［更新する］を選び「決定」ボタンを押す。 暗証番号入力画面が表示されますので、数字ボタンですでに設定してある暗証番号（工場出荷時は9999）を入力します。 暗証番号が合っているときは「新しい暗証番号を入力してください」と表示されますので、数字ボタンで新しく設定する4桁の暗証番号を入力し、「決定」ボタンを押すと新しい暗証番号が登録されます。
	字幕・文字スーパー	字幕と文字スーパーの表示を切り換えます。（この場合の字幕・文字スーパーとは画面にはじめから表示されているテロップとは異なり、放送局から文字データーとして送信されるもので、番組によっては文字データが送信されていない場合もあります。） ［選択項目］：なし、第1言語、第2言語
	音声切換	音声出力を切り換えます。番組によって副音声を送信していない場合もあります。その場合はステレオ、モノラル（主音声のみ）になります。 ［選択項目］：主音声、副音声、主＋副（主音声と副音声を同時に出力）
	番組表取得設定	放送局から送られてくる番組表を取得するかしないかの設定をします。 ［選択項目］：取得する、取得しない
各種情報表示	B-CAS情報	お使いのB-CASカードの情報を表示します。
	バージョン情報	お使いの機器のソフトウエアバージョンを表示します。
	放送メール	放送局から送られてくるメール情報や、本機の更新情報などを表示します。
テスト	B-CASテスト	B-CASカードの働きをテストします。
	全設定消去	お客様が［テレビ設定］メニューで設定した内容をすべて工場出荷状態に戻します。 はじめに4桁の暗証番号を入力します。（工場出荷時は9999）

故障かな？と思ったら

テレビが映らない

・本機の電源がオンになっているかご確認ください。

・AV入力モード（外部入力モード）になっていないかご確認ください。

・アンテナケーブルがきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないかご確認ください。

・チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネル設定を行ってください。

・受信レベルが低すぎるか高すぎる可能性があります。下記の手順で受信レベルを表示してご確認ください。60%以上が推奨値です。

▶ 分配器をご利用の場合は、外して直接接続してみてください。

▶ 増幅器（ブースター）または減衰器（アッテネーター）を利用すれば受信レベルを改善できる場合があります。

※ 特に放送局から遠く離れている場合や、室内アンテナをご利用の場合など、受信レベルが低いと正常に受信できない場合があります。

・UHFアンテナが設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。

・ケーブルテレビにて地上デジタル放送を再送信されている場合、ケーブルテレビ局に「CATVパススルー方式」で送信しているかどうかご確認ください。

・ご使用の地域で地上デジタル放送が始まっていない場合は受信できません。

電源が入らない

・ACアダプターがコンセントおよび本体に正しく接続されているかご確認ください。

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

映像が乱れたり途切れたりする

・受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり途切れたりすることがあります。下記の手順で受信レベルを表示してご確認ください。

・外部機器との接続が正しく行われているかご確認ください。

・元の映像データ自体に問題がないかご確認ください。

音声が出ない

・音量がゼロまたは小音量になっていないかご確認ください。

・消音状態になっていないかご確認ください。

・ヘッドホンが接続されていないかご確認ください。

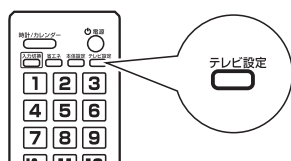
リモコンが効かない

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

・リモコンの電池の向き（極性）が正しいかご確認ください。

・リモコンの信号が正しく受信されていない可能性があります。リモコンはテレビ正面方向から操作してください。

受信レベルの確認方法

① リモコンの「テレビ設定」ボタンを押す

② ［受信設定］の項目から▲ ▼ ボタンを押して［受信レベル］を選び、「決定」ボタンを押す

受信設定　機器設定　各種情報表示　テスト

＞受信レベル

地域設定・(東京)
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

表示するチャンネルを選んでください

ボタン	3桁CH	放送局	物理CH
1	011	NHK総合・東京	27
2	021	NHK教育・東京	26
4	041	日本テレビ	25
6	061	TBS	22
8	081	フジテレビジョン	21

③ ▲ ▼ ボタンを押して確認したいチャンネルを選び、「決定」ボタンを押す

受信設定　機器設定　各種情報表示　テスト

＞受信レベル ＞ 受信レベル表示

地域設定・(東京)
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

受信レベル / NHK総合・東京(1)

弱　強

電波の強さ ＝ 77%
物理チャンネル ＝ 27ch

故障かな？と思ったら（続き）

勝手に電源が入る

・番組予約を設定しているときは、指定した時間の数分前に本機の電源がオンになります。

番組予約（視聴予約）が機能しない

・番組予約を設定しているときは、指定した時間の数分前に本機の電源がオンになりますが、最初は前回視聴していたチャンネルが表示されます。指定した時間の直前に、自動的にチャンネルが切り換わります。

再生したいファイルが表示されない

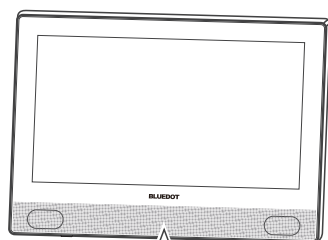
・本機がサポートしている規格のファイルかどうかご確認ください。
・パソコンで隠しファイル属性にされているファイルやフォルダは表示されません。

再生したいメディアが認識されない

・メモリーカードが正しい向きで挿入されているかご確認ください。
・メモリーカードが正しくフォーマットされているかご確認ください。
・USB 接続のハードディスクは、電力供給の関係上正しく動作しないことがあります。
・すべてのメモリーカードやUSB 機器の動作を保証するものではありません。

ファイルが正しく再生できない

・本機がサポートしている規格のファイルかどうかご確認ください。パソコンで編集したファイルは再生できないことがあります。
・動画ファイルやメモリーカードの転送速度によっては、再生中にコマ落ちする場合があります。

本機の電源状態について

状態	説明
電源オン	映像および音声が出力されます。 電源ランプは「緑色」に点灯します。
電源オフ （スタンバイ）	映像および音声は出力されません。 電源ボタン以外の操作は受け付けません。 電源ランプは「赤色」に点灯します。

※本機では、主電源を完全にオフにすることはできません。

製品仕様

型名	BTV-1010
受信機型サイズ	10V型 LEDバックライト採用
画面サイズ(幅×高×対角)	22.0×12.9×25.5cm
画面画素数(水平×垂直)	1024×600画素 ワイドSVGA
放送方式	UHF:13ch〜62ch(ISDB-T地上デジタル放送)
外形寸法(幅×高×奥行)	258×195×35mm ※本体設置面積は最大258×125mm
本体質量	約0.8kg
電源	入力:AC 100V〜240V 50/60Hz 出力:DC 12V 2.0A ※専用ACアダプターを付属
消費電力	最大時:約16W 通常視聴時:約12W(弊社実測値) 待機時:約0.8W
年間消費電力量	約26kWh/年
スピーカー出力	1.5W×2
入出力端子	AV入力(コンポジット)×1、 ヘッドホン出力×1、 メモリーカードスロット×1、 USB端子×1、 アンテナ入力(F型、インピーダンス 75Ω)×1、 電源入力×1、 miniB-CASカードスロット×1

※BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上アナログ放送には対応していません。
※データ放送や双方向サービスには対応していません。
※CATVパススルーに対応しています。

困ったときは

本書をお読みいただいても問題が解決しないときは、まずはホームページの『FAQ（よくあるご質問と答え）』をご活用ください。

http://www.bluedot.co.jp/support/

BLUEDOT® 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : info@bluedot.co.jp

http://www.bluedot.co.jp

お客様サポートセンター

TEL : 0570-010080（ナビダイヤル）

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで

FAX : 043-295-8852

E-mail : support@bluedot.co.jp

ご利用時間：午前10時から午後5時まで（土・日・祝日・会社指定休日を除く）

1106B